

みなさんへ

主催 新潟教区教化委員会未来構想部門

ほうおんこう 子ども報恩講2023 あらい



とき・ところ

11月3日(金・祝) ^{あらいべついでん}新井別院 妙高市下町 5-3
(025)-572-2519

① お参り ^{しんらん}親鸞さまにこれから^{つど}集いをしますとお参りします。

② たのしいつどい

^{かみしほり}紙芝居や^{えほん}絵本の^よ読み聞かせ、

みんなのできるゲームなど

引き続き 「^{らんおん}鸞恩くんと^{あそ}遊ぼう」

^{けいひん}景品をゲットしよう!

☆ ^{えんじ}園児による^{かいがてん}絵画展 ☆

大谷保育協会高田支部加盟園の園児の皆さんが描いた元気いっぱい
の絵画をみにきてください!

★とき 10月末日～11月4日★ところ 新井別院にて

<問い合わせ先>高田教務事務所

でんわ:025-524-3913(松村)

^{うらめん}※裏面につづく

にっ てい 日 程 2023

11月3日(金・祝)新井別院

9:00 ちごぎょうれつていぎしゅっぱつ
稚児行列庭儀出発 なかまちかいかん
中町会館

10:00 ちごぎょうれつあらいべついん ちゃく
稚児行列新井別院 着 かりほんどう
仮本堂

10:00 しゅうごう
集合 ほんどう
本堂

10:05 あいさつ じきどう
お食堂

ひきつづき たの 楽しいつどい じきどう
引き続き 楽しいつどい お食堂

かみしばい えほん よみ き
紙芝居や絵本の読み聞かせ、

みんなのできるゲームなど

らんおん あそ
引き続き 「鷺恩くんと遊ぼう」

11:00 かいさん ひと みせ
解散 おうちの人とお店をみてまわろう！



れん
蓮ちゃん



女性研修会定例学習会（第1回）

本学習会は、年3回開催される女性研修会の良さを教区内の皆様
に周知していただくこと、また研修会の際に行われる班別座談を円滑
に実施できるようになることを目的に護念寺住職の細川好円氏を
講師に年5回開催いたします。

テーマ 『親経』に聞く私の現場

講師 細川 好円氏
ほそかわ こうえん
第17組護念寺住職



開催日 2023年12月6日（水）

日程・時間 13時30分～15時（適宜休憩）

会場 三条別院（三条市本町2-1-57）

対象 どなたでも 参加費 無料 事前申込 不要

持ち物 念珠、勤行本、真宗聖典、筆記用具

★お知らせ★

（第2回）2024年2月14日（水）13：30～15：00

（第3回）2024年3月12日（火）13：30～15：00

（第4回）2024年4月9日（火）13：30～15：00

（第5回）2024年5月14日（火）13：30～15：00

お問合せ 新潟教務所（TEL：0256-33-2805）

新潟教区教化委員会 女性研修会実行委員会主催

伝道研修会（案内）

1960年代、学生運動が盛んで日本政府や大学を相手に闘い、変革を迫ろうという社会的な熱狂がありました。70年代、80年代は、高度経済成長やバブル景気の中で、受験戦争や出世競争に勝ち抜くことで物質的な豊かさを手に入れることを多くの人が目標にしていました。高度成長期が終わってバブルが崩壊すると、社会として目指すべき方向性がわからず、個人としても人生の目的や優先すべきことが見失われ続けているのが現代という時代ではないでしょうか。

自分が何のために生きているのかわからない。

社会にも自分の将来にも希望が持てない。

逆らおうとも思えない。

言ってもムダ、どうせ変わらない。

『仏説無量寿経』には「煩惱を身に具えているあなた方（衆生）は、清浄の心も、真実の心もないことを私（如来）はどうに知っている。だからこそ、わが名を称えよという私の真実の誓願を信じなさい。一遍でも十遍でもわが名を称え、浄土に生れることがないならば私は仏にはならない」ということが説かれています。

厚い雲が覆い尽くしているような、あきらめ、無気力、引きこもり、先行き不安な現代に、浄土ということや念仏ということは、具体的にどのように私たちにはたらきかけてくるのでしょうか。現代を見つめ、經典にたずねながら、一人でも多くの方と一緒に考えたいと思います。どの日程からでもかまいませんので、お友達も誘って是非ご参加ください。

12月11日(月) 10:00～(裏面に日程)

講師 **大島 義男 師**

会場 **高田別院**

対象 **どなたでも**

参加費 **1000円**

持物 **念珠、真宗聖典
筆記用具**



大島義男(おおしまよしお)

教師修練指導、東京専修学院講師などを歴任。

「東京雲集学舎」世話人代表。

各地でお聖教学習の講師として携わる。

【日 程】

- 10:00 問題提起 豊島信(第6組西光寺住職)
- 10:30 パネルディスカッション
- 10:50 休憩
- 11:00 講義① 大島義男師
- 11:50 昼食 (昼食は各自でご準備ください)
- 13:30 パネルディスカッション
- 14:00 講義② 大島義男師
- 14:50 休憩
- 15:00 パネルディスカッション(大島先生も入ります)
- 16:00 質疑 感想等

【パネラー紹介】

北條頼宗 (ほうじょうよりむね)

1962 年生まれ。早稲田大学商学部卒業。東京大谷専修学院卒業後、指導として3年勤務。教師修練指導補、指導を20年以上歴任。旧高田教区教区会議長を4期12年務める。上越市東本町照行寺住職。

大西真志 (おおにしまさし)

1974 年生まれ。プログラマ、飲食業を経て、大谷専修学院本科卒業。第6金光寺前住職。第1組光徳寺衆徒。同朋会館補導。糸魚川市市振在住。

司会 水嶋 聡 (みずしまさとし)

1967 年生まれ。高田真宗学院卒業。糸魚川市青海光徳寺住職。同朋会館教導。各地での報恩講や法話会の講師として赴く。

【問合せ先】

実行委員長 豊島信 (第6組西光寺) 090-7270-4078

高田教務事務所 TEL 025-524-3913

主催 新潟教区教化委員会 伝道研修会実行委員会

新潟教区教学研修会

主催:新潟教区教化委員会教学研修実行委員会

蓮如上人は、御文の二帖目の第一通の末尾に「のちの代のしるしのためにかきおきし
のりのことの葉かたみともなれ」(真宗聖典 P778)と残されておりますし、私たち真宗門
徒の生活において、朝夕のお勤めに正信偈をたしなむということを勧めてくださっており
ます。

ご存知の通り正信偈は、親鸞聖人の主著である『教行信証』の中にある偈文で、聖人自
ら「正信念仏偈」と名づけ、念仏のいわれと功德、その教えの伝承を述べたものです。

しかしながら、慶讃法要テーマに「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねてい
こう」とありましたが、先ず、南無阿弥陀仏がわからない、念仏がわからない、というこ
とを幾度も耳にしてまいりました。

そうであるならば、普段、何気なく読んでいる正信偈とはどういうことなのか。改めて、
そのことを通して私たち自身の生活の点検を、宗祖親鸞聖人のお言葉に私を聞いて参りま
しょう。

教区に関わらず、どなたでも参加できますので是非ご参加ください。

第2回は2024年3月22日です

- | | |
|-------|---|
| 1 期日 | 2023年12月14日(木) |
| 2 会場 | 高田別院会館(上越市寺町2丁目24-4)
電話:025-524-3913 |
| 3 講師 | 狐野秀存氏(前大谷専修学院長) |
| 4 内容 | 正信偈
連続講座(全6回)の1回目「総讃」 |
| 5 携行品 | 真宗聖典、勤行本、念珠、筆記用具 |
| 6 参加費 | 500円 |
| 7 日程 | 13:00 受付
13:30 開講式、勤行
14:00 講義
17:00 質疑応答
17:30 閉講式 |



当研修会は教師陞補対象研修会(第一種)です。

教区秋安居のご案内

本年度の秋安居は、廣瀬 惺 氏をお迎えし、下記のとおり開催いたしますので、是非ご参加くださるようご案内申し上げます。

どなたでも参加いただけますので、お誘い合わせのうえ、ご来院くだされば幸甚です。また、講義内容は同じですので、どちらの会場でも受講いただけます。一人でも多くの方の受講をお待ちしております。

記

- 1 講師 廣瀬 惺 氏（本山安居本講者・嗣講）
- 2 対象 有教師・聴講希望者
- 3 講題 教行信証「信巻」（本）試考一本願力回向の信心一
- 4 講録 安居本講本『教行信証』「信巻」（本）試考一本願力回向の信心一

※講録（定価 4,400 円（税込））をご希望の方は、「東本願寺出版 HP」
または事前に教務所・教務事務所にてお求めください。

- 5 服装 有僧籍者は間衣・輪袈裟

6 会場	三条別院 旧御堂		高田別院会館 お食堂	
7 期日	12月19日（火）		12月20日（水）	
8 日程	10:00～	開講式	10:00～	講義③
	10:30～	講義①	12:00～	休憩
	12:00～	昼食休憩	13:15～	講義④
	13:15～	講義②	15:00～	質疑
	16:15～	質疑	15:15～	閉講式・
	16:45	終了		終了
9 参加費	2,000円		2,000円	
10 その他	※教師陞補対象研修会（第二種）です（1日のみの受講は対象外） 昼食は、各自でご用意いただくか、近隣飲食店をご利用ください。		※教師陞補対象研修会（第二種）です（1日のみの受講は対象外） 昼食は、各自または教務所（受付時）にてお伺いします。 秋安居事前学習会を12月12日（火）、18日（月）の午後6時から午後8時まで高田別院会館図書資料室にて行います。	
11 お問合せ	真宗大谷派新潟教務所(担当：西村) 〒955-0071 新潟県三条市本町 2-1-57 Tel0256-33-2805 Fax0256-33-2847 Mail niigata@higashihonganji.or.jp		真宗大谷派高田教務事務所 〒943-0892 新潟県上越市寺町 2-24-4 Tel025-524-3913 Fax025-524-2645 Mail niigata@higashihonganji.or.jp	

※都合により日程を変更する場合があります。

主催：新潟教区教化委員会教学儀式部門

2023年度秋安居 事前学習会(輪読)のご案内

本年の秋安居は、12月19日(火)～20日(水) [会場:三条別院]、21日(木)～22日(金) [会場:高田別院] に本山安居本講の廣瀬 惺氏をお迎えし、教行信証「信卷」について講義をいただきます。

教区秋安居に先立ち、水嶋 聡氏を講師にお迎えして、事前に講録の輪読会並びに学習会を行いたいと存じます。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、秋安居当日受講される方はもとより、当日受講できない方も是非ご参加ください。

記

- 1 日 時 ①12月12日(火)午後6時から午後8時まで
②12月18日(月)午後6時から午後8時まで
- 2 会 場 高田別院会館 図書・資料室
- 3 講 師 水嶋 聡氏 [第1組 光徳寺住職]
- 4 携行品 安居本講本

『教行信証』「信卷」(本) 試考—本願力回向の信心—
※講録(定価4,400円(税込))をご希望の方は、「東本願寺出版HP」または事前に教務所、教務事務所にてお求めください。

主催：教区教化委員会教学儀式部門

新潟教区内御寺院御中

2023年10月15日

「新潟教区若者仏教会」の役員について(通知)

新潟教区若者仏教会
会長 本間 正紹

謹啓 寒露の候 皆様におかれましてはますますご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、既知のとおり2023年7月1日からの新潟教区の発足に伴う教化体制の変更に
より、旧三条教区の仏教青年会は新潟教区の外郭団体「新潟教区若者仏教会」として活
動を行う事となりました。

なお、旧高田教区の仏教青年会とは、引き続き連携をとりながらそれぞれの状況に合
わせて活動を行っていく事を予定しております。

つきましては、当会の発足と執行役員について下記の通りお知らせいたします。

また、当会の詳細、会員の募集につきましては、パンフレット、チラシ等を鋭意作成
中ですので、追って関係各位への送付を予定しております。

今後とも当会へのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

謹白

記

1 新潟教区若者仏教会役員名簿

役職	氏名	組	所属寺院
会長	本間 正紹	第23組	善照寺
副会長	田宮 宗人	中越11組	浄願寺
会計	齋藤 遼	第22組	託明寺
事務	石田 隆浩	第20組	西光寺
常任委員	村山 尚秀	第22組	浄音寺
常任委員	福田 瞬	第15組	善性寺
常任委員	細川 万里絵	第17組	護念寺
常任委員	藤田 恵日	第18組	福泉寺
監事	細川 敏祐貴	第17組	護念寺
監事	村手 敦史	第20組	光圓寺

以上

新潟教区内御寺院御中

2023年10月15日

「真宗大谷派新潟教区三条地区児童教化連盟」の役員について(通知)

真宗大谷派新潟教区三条地区児童教化連盟

委員長 藤田 恵日

謹啓 寒露の候 皆様におかれましてはますますご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、既知のとおり2023年7月1日からの新潟教区の発足に伴う教化体制の変更に
より、旧三条教区の児童教化連盟は新潟教区の外郭団体「真宗大谷派新潟教区三条地区
児童教化連盟」として活動を行う事となりました。

なお、旧高田教区の児童教化連盟とは、引き続き連携をとりながらそれぞれの状況に
合わせて活動を行っていく事を予定しております。

つきましては、当連盟の発足と執行役員について下記の通りお知らせいたします。

また、当会会員の募集につきましては、チラシ等を鋭意作成中ですので、追っ
て関係各位への送付を予定しております。

今後とも当連盟へのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

謹白

記

1 真宗大谷派新潟教区三条地区児童教化連盟役員名簿

役職	氏名	組	所属寺院
委員長	藤田 恵日	第18組	福泉寺
副委員長	鈴木 唯我	第17組	願正寺
会計	楠 朋宏	第18組	西源寺
事務	白鳥 直来	第15組	本龍寺
常任委員	渡邊 量	第23組	光圓寺
常任委員	佐々木 友美	第15組	光善寺
監事	小原 暁	第16組	存念寺
監事	泉 慶	第23組	慶誓寺

以上

宗祖親鸞聖人に会う会

古代インド、マガダ国で起こった「王舎城の悲劇」の物語が説かれている『仏説観無量寿経』を親鸞聖人は、『涅槃経』からも引用しながら詳しく『教行信証』に書かれています。

その物語には様々な人物が登場します。鹿狩りに出かけたものの獲物が獲れないことをそこに住む仙人のせいにして、自らの手を汚さず家臣に仙人を殺させる頻婆娑羅王。仙人は、死に際に来世にて必ず報復すると誓って息絶え、それを聞いた頻婆娑羅は報いを受けることを恐れます。

また、自分の能力を過信し、釈尊のもとへ集う人々を自分に預けてほしいと教団を乗っ取ろうとしますが、釈尊に一蹴され、太子である阿闍世をそそのかして仕返しを図る提婆達多。そそのかして順って父王頻婆娑羅を餓死させ、母韋提希にまで手をかけようとする阿闍世。その頻婆娑羅王と韋提希夫人は、かねてより釈尊の教えを聞き続けていた人たちです。

この物語は、暴力、妬み、憎悪、差別など仏教が課題としている人間の三毒がありありと描かれています。そのようなものが救われていく道、また、釈尊が身近にしながらそれぞれの立場で罪を犯す人間がどのようにして救済されていくのかを親鸞聖人は課題にしていられました。それは、現代を生きる私たちも何らかの事柄で救済されない人類の普遍的な課題であります。

ぜひ皆さんと一緒に親鸞聖人のあゆまれた本願念仏の大道を訪ねましょう。

日時・会場	講師
11月7日(火) 13:30～ 最賢寺(上越市南本町3丁目)	はせ あきふみ 長谷 顕文氏 富山県射水市 万徳寺衆徒
12月18日(月) 13:30～ 最賢寺(上越市南本町3丁目)	調整中

◆お勤め 20分(真宗大谷派勤行集=赤い色の本)

お話し 60分～90分

お茶を飲みながらの座談会 60分(自由参加)

◆お子様連れでもお越しください!

◆参加費: 500円

◆お問い合わせ先 宗祖親鸞聖人に会う会

豊島 信(西光寺) 090-7270-4078

滋野憲史(善念寺) 090-2162-4301

金子光洋(最賢寺) 090-3623-4789

☆長谷顕文

1979年富山県射水市生まれ。バンタンデザイン研究所ファッション学部卒業後、株式会社メンズニューヨーク(現ダイドーフォワード)に5年間勤務。大谷専修学院修了後、真宗大谷派高岡教務所事務嘱託、真宗本廟同朋会館補導を経て、現在に至る。